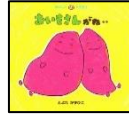


10月のおすすめ絵本

たんぼぼこ～十～



「おいもさんがね・・・」

とよた かずひこ

土の中からどンドンお芋さんが引っ張られて出てきます。一つ一つのお芋さんの表情がかわいく、子ども達は「よいしょ よいしょ」と声をそろえて応援しながら見えています。すっぽ～んと抜けたら…最後はおいしそうな焼き芋に！これからの季節にピッタリ。食育絵本としてもおすすめ！子ども達も「もう一回！」と繰り返し楽しむだーい好きなお話。「バルボンさんシリーズ」や「ももんちゃんシリーズ」の著者、とよたかずひこ先生のかわいい絵本です。

「だるまちゃんとてんぐちゃん」



加古 里子

ちいさいだるまちゃんは、ちいさいてんぐちゃんが持っているうちわや帽子、げた…何でも欲しがります。うちに帰ると、おおきなだるまどんが、代わりになるものをいろいろ探し出し並べてくれます。「こんなんじゃないんだけどな…」と眺めながら考えてるうちに、“いいこと”を思いつき、だるまちゃんなりにてんぐちゃんの姿を真似ていきます。てんぐちゃんは「いいのあったね」と褒めてくれます。優しいてんぐちゃんとかわいいだるまちゃん。お互いを認め合い仲良くあそぶ様子にほっこりします。



「かしこいビル」

ウィリアム・ニコルソン
まつおか きょうこ
よしだ しんいち

おばさんの家に招待されたメリーは、早速、お泊りの準備を始めます。大切なものをどンドン詰め込んで、トランクはパーンパン。荷物を入れ直しているうちに、なんと！一番大切な人形の兵隊、「ビル」を入れ忘れてしまいます。さあ、メリーは気づいてくれるかな？かしこいビルはどうする？お話がテンポよくすすみ、絵のタッチも魅力的です。最後の解説を読むと絵からのメッセージがあり、「なるほど！」と新たな発見に面白さが広がりますよ。